

安全・遵法・高品質のサービスで利用者の心を捉え  
「ライドシェア＝白タク合法化」を「阻止しよう！」  
「公共交通機関」としての責任を果たし、  
社会的地位の向上と賃金・労働条件の改善を実現しよう！

明けまして

おめでとようございませす

旧年中は  
組合活動へのご理解  
解と多大な協力  
をいただき、  
感謝申し上げます。

本年もよろしく  
お願い申し上げます。

|        |       |
|--------|-------|
| 執行委員長  | 葛地 るみ |
| 副執行委員長 | 岡井 守  |
| 書記長    | 福島 達  |
| 執行委員   | 斎藤 和志 |
| 執行委員   | 岩淵 マリ |
| 執行委員   | 河西 純孝 |

「ライドシェア＝白タク合法化」  
を阻止しよう！

2018年は、世界各国で「ライドシェア＝白タク合法化」の危険性と違法性を告発するタクシートの労働組合の運動が行われました。EU各国では労働組合の活動によって、ウーバー等の家用ライドシェアが禁止、又は制限されている国が多くなっています。アメリカでは、都市部での家用ライドシェアによって交通渋滞が起こり、台数規制が行われています。また、ニューヨークのタクシードライバー労働組合でライドシェア乗務員もタクシードライバーと同様の最低賃金が決定されています。ライドシェアが上陸し拡大してから、制限や規制を行うのは容易な事ではありません。

「ライドシェア＝白タク合法化」が禁止されていた韓国でも、タクシードライバー事業者のカカオが家用ライドシェアを行おうとしましたが、タクシードライバー労働組合と業界から大反対運動が連日行われており、「ライドシェア＝白タク合法化」を許さない法案の可決を求めて運動が進められています。

日本では現在、「ライドシェア＝白タク合法化」は水際で阻止されていますが、この1年で状況は厳しくなっています。内閣府の諮問機関である規制改革推進会議は「規制改革」の旗振りとして「ライドシェア＝白タク合法化」を推進しています。また、安倍内閣は5月に「生産性向上特措法」を成立させ、現在法律で禁止されている事業（ライドシェア＝白タク合法化を含む）を管掌大臣の許可で実験的に導入される状況を作っています。ウーバーやリフトに出資している経営者団体の新経済連盟も安倍政権に道路運送法の

改悪を働きかけています。ライドシェア事業者であるウーバーや滴滴出行も戦術を変えて日本への進出を拡大しています。これまでは過疎地や一部の東京のハイヤー等ウーバーに進出していました。2018年秋からは名古屋の一部のタクシードライバーと大阪の一部のタクシードライバーと契約、現在では青森、宮城、福島のタクシードライバーがウーバーと契約して、タクシードライバーの配車アプリとして稼働させ始めました。ウーバー等は現在の法律に従って力と信用を作り、法律が改悪されれば「ライドシェア＝白タク合法化」を一基に推し進める戦術です。

労働組合の「ライドシェア＝白タク合法化」阻止の運動も広がっています。2016年以降、タクシードライバー8団体は共同して集会や宣伝行動を行っています。2017年には、全自交が加盟している交運労協（陸・海・空の運輸産別の共同組織）が、「ライドシェア＝白タク合法化反対・民泊反対」の署名を65万筆集めて2018年3月に国会請願を行いました。又、組合員の皆さんからカンパをいただいた「交通の安全と労働を考える市民会議」は全国各地でシンポジウム、集会を開いて「白タク合法化」の危険性を多くの人々に訴えています。共同の輪を拡げ、利用者と社会に「ライドシェア＝白タク合法化」阻止の理解を拡げる運動が大切です。

「ライドシェア＝白タク合法化」とは、ウーバー等のマッチング事業者は手数料で儲けるが、安全や事故、労働者の雇用には全く責任を持たない無責任な制度です。「ライドシェア」を許さず、国民の安全な移動の権利である公共交通機関としてのタクシードライバーを守り、労働者の権利を守りましょう。

「安全・遵法・高品質な輸送サービス」の確保と責任

国土交通省によって、タクシーが公共交通機関として認められてから11年が経っています。公共交通機関として位置付け付けられるということは、権利も発生しますが、安全・遵法・品質に対する責任と義務が大きくなります。

日本のタクシーは、安全快適な輸送の確保を目指して、「運転技能・地理知識・マナー」の改善を労働組合と経営で取り組んできました。

賃金・労働条件の改善を実現しよう！

東洋交通労働組合では組合加入時に「①法令遵守、②地理の勉強、③日本交通のルールを守る、の3つの約束して下さい」と話しています。必ず実行して下さい。「安全・遵法・高品質な輸送サービス」を実施するには、「3つの約束」は必須事項です。一人ひとりが公共交通機関としての責任を果たし、利用者と社会から信頼を得る事です。日々の労働で安全・遵法・高品質な輸送サービスを提供して利用者の心を捉え、「無責任な白タクなど、この国には必要ない」という状況をつくる事が大切です。

東洋交通では、2005年の日本交通グループ化以来の課題であった「未収金5%の労働者負担撤廃と賃金改定」を、2013年秋に実現しました。それ以降春闘では、賞与の「特別配分」の改定を行い、労働組合に対する解決金を実現してきました。労働条件の改善も一歩ずつ実現を目指し、粘り強く要求し続ける事が大切です。

2019年の主な日程

| 月日    | 曜日 | 日程                     |
|-------|----|------------------------|
| 1月4日  | 金  | 「謹賀新年マスク」の配布           |
| 1月5日  | 土  | 「謹賀新年マスク」の配布           |
| 1月13日 | 日  | 2019年 東洋交通労働組合 旗開き・新年会 |
| 2月1日  | 金  | 第1回明番集会                |
| 2月2日  | 土  | 第1回明番集会                |
| 2月17日 | 日  | 第1回中央委員会               |

2016年から「賞与の營收配分の各ランクを5%ずつ増額する」事を要求しています。また、「能率給の残業高の減額」を要求し続けています。18秋闘では、「運番の能率給の残業高の減額を早急に行なう」事を要求しました。

2019年は、大会で決定した賃金・労働条件改善の要求を継続して行い、団結して実現を目指しましょう。全自交労連の一員として全国の仲間と団結し、「ライドシェア||白タク合法化」を阻止しましょう。

今年一年、組合員の皆様と御家族の御健康と御多幸、無事故・無違反を御祈念申し上げて、年頭の挨拶とさせていただきます。

「マスク配布」にご協力を！

安全・安心・快適

東京のタクシーを世界のトリップアドバイザーが世界No.1と高評価、女性や交通弱者が深夜でも安心して乗れる東京のタクシー

キャンペーン期間

2018 12/16  
2019 1/15

◎お送りします

安全管理ルールを守らないライドシェアに対し欧米は事業規制に舵を切った

ライドシェア(白タク合法化)とは？

世界では「ライドヘイリング」と呼ばれ、乗客(ユーザー)と素人運転手(自家用車使用)とを仲介する事業者で、運送責任の規制を受けないと主張してきましたが、EU大法廷は事業者の果たすべき責任を全て運転手に負わせ、安全対策を怠ってきたライドヘイリングに対し「それダメ」と判決を下しました。現在もEU諸国やロンドン、ニューヨークなどでは安全管理ルールを守らない事業者に対し、参入や事業規制に舵を切っています。



主催 東京ハイタク労働団体 (KPU東京地連・中労協・交通労連東ハイ・私鉄関東ハイタク・新運転東京・全自交東京地連)  
協賛 一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会

03-6803-0585  
03-3264-8080

公共交通機関として、タクシーは「安全・安心」と「より良いサービス」が求められています。世論に公共交通機関に相応しい、賃金労働条件の実現を訴える為、「白タク合法化反対」を訴えたピラ入りマスク配布を行います。年始にタクシーを利用されるお客様にお配りし、世論への理解を広げていきましょう！

タクシーをご利用のお客様へお渡し下さい